

コラム

ベランダ発電はいかが？

集合住宅、貸家などでは、屋根に固定式の太陽光発電を設置するのは困難です。そんなときは、ポータブルの太陽光パネルと蓄電池を使って、ベランダ、縁側などで発電、蓄電し、日の当たらない夜などに使うことで地球環境に貢献し、電気料金の節約にもつながります。



写真は、出力 100W のポータブルパネルと容量 1kWh の蓄電池です。晴れた日は 0.5~0.7kWh 程度、発電することができます。

（参考）費用概算

○ポータブル太陽光パネル（約 100W）

+ポータブル蓄電池（容量：約 1.0kWh）のセット：2023 年 約 12 万円

【文責】宮澤 信



身边な木質バイオマス利用事例

（参考）P29「6-2 バイオマスの利活用」

まきストーブ

いろいろと市販されています。輸入や国産の良いものは、値段が高いのが難点。

まきストーブと発電なべ



ロケットストーブ

使用済みのオイル缶（ペール缶）と煙突材・断熱材等を利用して、手作りで作ることができます。空気の流れや断熱の工夫があり、完全燃焼して、効率がいいです。燃料を補充しながら、連続使用できる優れものです。



ウッドガスストーブ

二重構造になっていて、上部に空気を供給することで、ガス化した燃料を二次燃焼させ、完全燃焼しますので効率が上がります。いろいろなサイズの空き缶【写真左】やペール缶【写真右/重ねて使う】で手作りできます。



発電鍋、発電機能付き携帯型ストーブ等

温度差で発電する半導体素子が利用されています。いろいろと市販されています。

（参考）発電機能付き携帯型ストーブ



【文責】宮澤 信